

子どもの夜回り・火の用心

火の用心! マッチ 1 本火事の元

「火の用～心! マッチ 1 本火事の元」夕暮時にこだまする子どもたちの元気な声。

みなさんも子どもの頃、近所のお兄さんやお姉さんと一緒に夜回りをした経験はありませんか? ちょっぴり恥ずかしげに、そしてちょっぴり誇らしげに……。

能登川町では昔からこのような子どもたちによる夜回りが各字で行われてきました。しかし、一口に夜回りと言っても、時代によってさまざまな掛け声があります。下の図は、その移り変わりを表したものです。

いま現在、子どもたちが夜回りをしている字はほんの少ししかありません。それは、専業農家であった家が兼業農家へと変わり、字内の共同意識が希薄化してきたからだとか、子どもの数が減少したためだとか言われています。

このままでは、あと数年もしないうちに、“子どもの夜回り”はその姿を消してしまうかもしれません。

けれども、この“子どもの夜回り”を途絶えさせたくはないものです。なぜなら、“子どもの夜回り”は単なる行事ではなく、子どもたちが大人や社会と接する第一歩なのですから……。

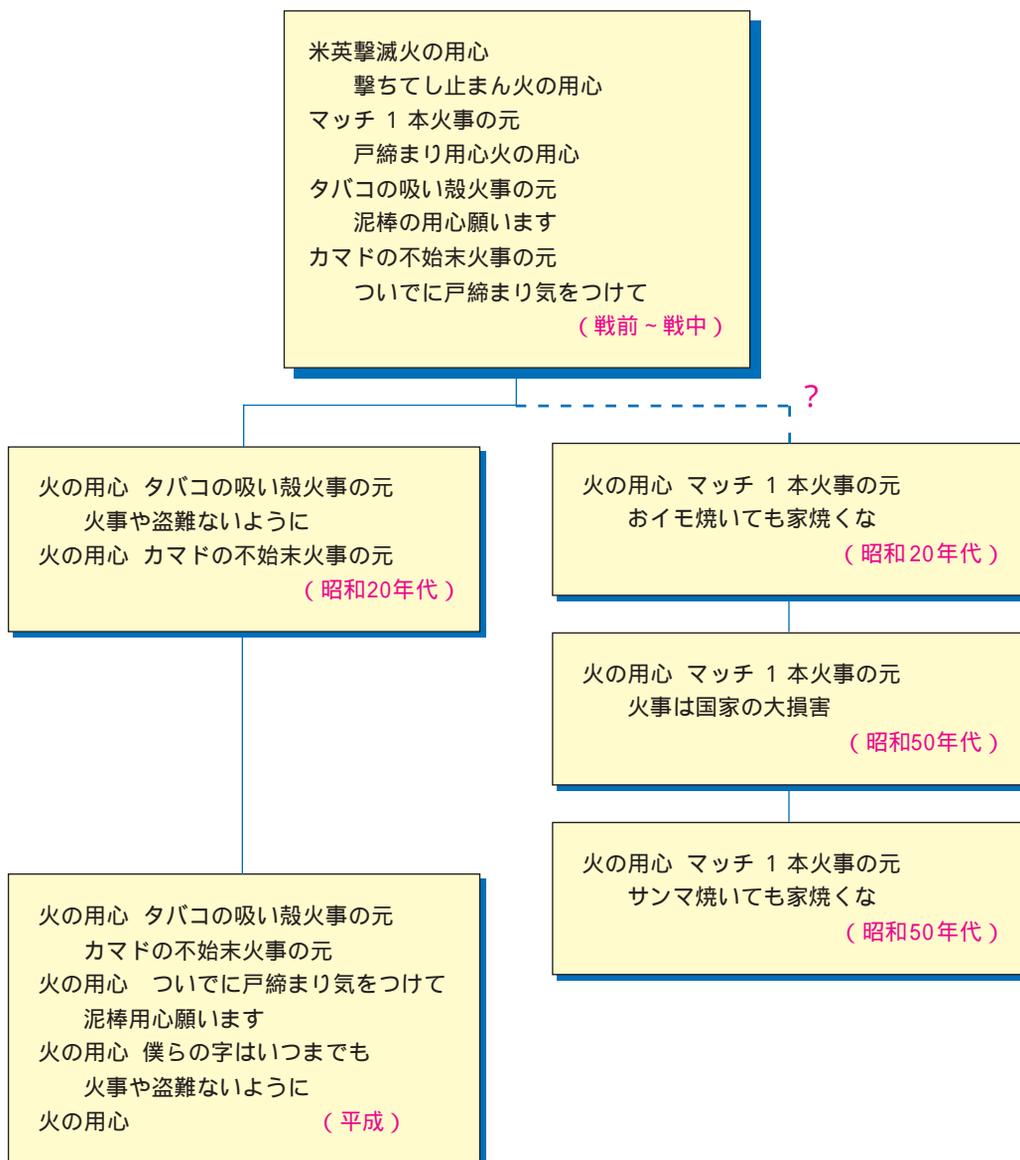


◀火の用～心! マッチ 1 本火事の元



▶みなさん、火事には十分ご注意を!

子どもの夜回り・火の用心の『掛け声』移り変わり



交通安全教室

手をあげて横断歩道を渡りましょう!!

最近、子どもを巻き込んだ交通事故が急激に増えてきています。そのため、能登川町では交通安全に対する認識を高めることを目的とした“交通安全教室”を年数回、各字で開いています。これらの写真は、平成8年(1996)の“交通安全教室”の1コマです。

この“交通安全教室”。主に子どもを対象として開かれているものですが、その内容は保護者をはじめとする大人に対しても有益なもので、交通事故の悲惨さを伝えるだけでなく交通安全の重要性、大きな事故を未然に防ぐための情報提供、そして、何ものにもかえがたい人命の

尊さを伝えるものとなっています。

この教室に参加した親子たちからは、「やっぱり事故はいややなぁ〜」とか「恐かった〜、事故には気をつけなあかなぁ〜」といった声が聞かれ、交通ルールを守ることがいかに大切であるかを再認識できたようでした。

この教室で学んだことを忘れずに、交通安全に心がけていきたいものですね。



◀スライドによる交通安全指導(桜ヶ丘)



▲交通安全〇×クイズ(躰光寺)

◀シートベルトって本当にきくの?(躰光寺)